



平成 30 年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

地域包括支援センター

姫路市網干地域包括支援センター

平成 30 年度 事業計画

目 標	積極的な研修参加を行い質の向上・スキルアップを目指す。
理 由	地域包括支援センターとしての専門性をより高めるため、研修については積極的に行ってきたが、参加は個人によってばらつきが出ているのが現状である。少しでも多くの職員が研修に参加し、スキルアップを図る事がサービスの質の向上につながるため。
具体的対応策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 雇用形態に関わらず研修に参加できるよう、業務内容の確認及び見直しを行う。 2. 姫路市主催の研修に関しては、原則全てに参加し、その他の研修については、事業所内で必要性を検討した上で参加する。 3. 一つの研修に全職員が同時に参加できるわけではないため、研修終了後には事業所会議の場で伝達研修を実施し、共有を図る。

平成 30 年度 事業報告

事 業 報 告	<p>パート職員の勤務時間を調節したことで、全職員が積極的に研修に参加することができた。</p> <p>姫路市主催の研修に関してはすべて参加し、その他の研修については、講義内容や職種を踏まえ、参加調整を行い、受講した。</p> <p>また、研修受講後、事業所内にて、資料の回覧や伝達研修を行い、内容の共通認識や意識統一を図ったことで、専門職としての質の向上とスキルアップにつながった。</p>
事業運営総括	<p>網干校区、網干西校区ともに高齢者人口は微増しており、地域包括支援センターへの相談件数は増えている。その逆に予防プランの件数は平成 29 年度に比べ、減っている。その要因としては、新規利用者は増えている中、要介護状態になる利用者が増えていることがあげられる。そのため、状態に応じた居宅サービスが適うように事業所間の調整に努めている。</p> <p>認知症サポーター養成講座に関しては、2 校とも小学 4 年生対象に授業に組み入れてもらえ、定着したことは、大きな成果と考えられる。また、このことは、世代を超えて、地域の人たちに認知症の啓発を勧める一歩となったとも考えられる。</p> <p>加えて、時間がかかったが、網干西校区でいきいき百歳体操も立ち上げることもできたため、更なる普及活動に努めていきたい。</p> <p>平成 30 年度は研修に参加し、スキルアップにつながったため、平成 31 年度は自立支援、重度化予防の視点に立ち、自助・互助・共助・公助を意識した介護予防計画が立案できるように取り組みたい。</p>

予防プラン数

平成30年度

プラン数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自前	184	183	189	183	181	183	184	179	182	179	177	167	2,171
外注	72	74	76	79	82	82	80	81	80	83	83	82	954
合計	256	257	265	262	263	265	264	260	262	262	260	249	3,125
新規	7	8	11	6	5	7	4	8	3	3	5	5	72

住宅改修理由書作成

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成数	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3

総合相談・保健活動実績

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	36	59	35	36	59	60	30	32	33	61	54	63	558
来所	12	31	18	17	48	17	23	34	19	42	27	31	319
訪問	33	27	24	29	37	43	26	36	26	61	41	28	411
その他	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
合計	81	117	77	82	144	121	79	102	78	164	123	122	1,290

地域密着型サービス運営推進会議

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加回数	3	0	2	1	1	0	4	0	2	1	1	0	15

※地域密着型サービス→あゆみ愛GH・小規模多機能/古民家ぬくもりデイ/風の谷デイ/希望デイ/アロハデイ

西保健センター連絡会議

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加回数	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2

※各校区民生児童委員代表が出席し、地域の高齢者の生活状況や問題点に関して共通意識を持ち、学ぶ会議

認知症サポーター養成講座・介護者のつどい（講師・主催）

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	0	0	3	1	0	1	1	0	2	0	1	0	9

※地域や職場で認知症の人や家族を支援する「認知症サポーター」の養成。認知症高齢者を介護する家族の支援

ケアマネジャー研修事業（主催・参画）

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	1	1	1	1	1	1	2	1	0	1	0	0	10

※地域のケアマネジャーの資質向上や情報交換を目的として実施。ブロック研修・リーダー会議、主任ケアマネ交流会

地域との連携（交流行事、講演研修会、ふれあい給食、役員会参加）

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	2	2	0	2	1	2	0	3	1	1	1	1	16

職員の内外部研修の実施状況 (平成30年度)

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期間	講師(職・氏名)
個人情報保護に関する研修	個人情報保護に関する注意事項について	全職種	9名	4月2日	管理者：戸田
事例検討会	聴覚障がい者の心理と社会資源について	全職種	8名	5月29日	提供者：松崎
事例検討会	其々に問題を抱える家族の支援方法について	全職種	8名	6月29日	提供者：井上
事例検討会	脳腫瘍排膿術後の独居生活の支え方について	全職種	8名	7月31日	提供者：白井
事例検討会	其々に病気を持つ夫婦の支援のあり方について	全職種	7名	8月31日	提供者：畑山
事例検討会	日中、独居の認知症利用者の支援方法について	全職種	7名	9月27日	提供者：戸田
事例検討会	これまでの生活もよく把握できず、コミュニケーションのとり辛い利用者の支援方法について	全職種	7名	10月30日	提供者：清水
事例検討会	本人や家族にとって、よりよい居宅サービスの利用方法について	全職種	9名	11月29日	提供者：竹内
事例検討会	本人の「息子と仲良く暮らしたい」という想いを踏まえた支え方について	全職種	8名	12月28日	提供者：鈴木

職員の内外部研修の実施状況 (平成30年度)

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期間	講師(職・氏名)
倫理・個人情報保護に関する研修	基本倫理、理念、行動規範、個人情報保護に関する方針について	四職種	4名	4月2日	理事長
倫理・個人情報保護に関する伝達研修	基本倫理、理念、行動規範、個人情報保護に関する方針について	プランナー	5名	4月2日	管理者
接遇研修	介護職員のビジネスマナー、介護職員のマナーについて	全職種	8名	7月10、11日	株式会社ニッソーネット
安全運転研修	福祉車両、安全運転自己診断、事故を起こさないための心得、ビデオ診断講評、自損事故の現状、実車による死角体感について	全職種	8名	8月20、21日 9月5日	大阪ガスオートサービス
看取りケア強化研修	看取りケアの実践、死の受容プロセス、家族の気持ちと必要な対応、チームケア、介護者のあり方について	看護師	1名	9月12日	株式会社ニッソーネット
職員倫理研修	身体拘束、拘束が及ぼす弊害と悪循環、身体拘束禁止11項目、緊急やむを得ない場合の対応、介護の質、人権擁護と倫理について	全職種	8名	11月7、16、19日	特別養護老人ホーム おかの花 小椎尾竹穂氏

職員の外部研修の受講状況（平成30年度）

研修名	研修内容	参加職種	参加人員	日付	期間	場所	研修結果の報告方法
平成30年度 地域包括支援センター新任研修プログラム	地域包括支援センター、権利擁護・尊厳を守るケア、要介護状態の悪化予防、包括的・継続的な生活支援、正しい認知症の理解等について	社会福祉士	1名	4月13日	1日間	田中興産ビル	口頭・復命
平成30年度 第1回「認知症相談センター機能強化研修」	今の私が伝えたいこと、若年性認知症の人の個別相談支援から見えること、前頭側頭型認知症の方の支援について	認知症担当	1名	4月27日	1日間	兵庫県私学会館	口頭・復命
2018年度 地域包括支援センター初任者研修	総合相談支援業務と包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、制度や総合事業等の最新動向について	社会福祉士	1名	5月14日	1日間	兵庫県福祉センター	口頭・復命
第1回 地域包括支援センター保健師等連絡会	自主活動グループ支援における専門職の役割について	看護師	1名	6月18日	1日間	田中興産ビル	口頭・復命
ケアマネジメント方向上会議	事例検討に基づき各専門分野における視点・知見からの気づきについて	認知症担当 看護師	2名	6月20日	1日間	姫路市西保健センター	口頭・復命
第1回 地域包括支援センター認知症担当連絡会	認知症担当職員の役割、認知症担当として今年度頑張りたいことについて	認知症担当	1名	6月26日	1日間	姫路市役所	口頭・復命
ふれあいネットワーク事業研究会	繋がりがり・見守り・支えあい育む、お互いさまの地域力について	社会福祉士	1名	7月11日	1日間	姫路市勤労市民会館	口頭・復命
地域包括全体研修	ICFに基づくアセスメントについて	介護支援専門員 社会福祉士 看護師	4名	7月12日	1日間	姫路市役所	口頭・復命
高齢者虐待対応力向上研修	高齢者虐待対応現任者の専門的視点と虐待事業対応の初動段階からの流れについて	社会福祉士	1名	7月20日	1日間	兵庫県民会館	口頭・復命
平成30年度 地域包括支援センター連絡会全体研修	地域包括支援センターにおける総合相談・ソーシャルワークについて	社会福祉士	1名	8月3日	1日間	姫路市役所北別館	口頭・復命
平成30年度認知症高齢者等見守り・SOSネットワーク推進研修（第1回認知症地域包括ケア推進研修）	認知症高齢者等の行為不明防止に関する取組み成果と課題について	認知症担当	1名	8月17日	1日間	兵庫県私学会館	口頭・復命

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参 加 人 員	日 付	期 間	場 所	研 修 結 果 の 報 告 方 法
高齢者虐待対応力向上研修	高齢者虐待対応の対応段階、評価と終結について	社会福祉士	1名	8月23日	1日間	兵庫県民会館	口頭・復命
「支えあい社会」県民フォーラム	母として、娘としての家族との関わり、交流と支え合いの輪の広げ方について	看護師	1名	8月28日	1日間	神戸芸術センター	口頭・復命
高齢者虐待対応力向上研修	高齢者虐待防止法・虐待発生メカニズム、不適切ケアをなくす方法について	社会福祉士	1名	8月29日	1日間	姫路労働会館	口頭・復命
精神疾患における在宅療養支援	精神科医療の歴史、精神疾患の在宅療養支援が難しい理由、医療の観点からの診察、診断、精神症状への対応について	主任介護支援専門員 看護師	2名	8月30日	1日間	姫路市南保健センター	口頭・復命
在宅医療推進に向けた地域交流	地域における在宅医療との連携を進めるための交流方法について	主任介護支援専門員 社会福祉士	2名	9月13日	1日間	アルモニーアッシュ	口頭・復命
平成30年度 地域包括支援センター一職員向け困難事例対応力向上研修	地域課題の解決に向けたスキルを得るため、初動期から支援方針の合意形成に至るプロセスについて	主任介護支援専門員	1名	10月15日	2日間	じばさんビル	口頭・復命
西播磨地域包括・在宅介護支援センター一連絡協議会 第2回研修	地域資源事業が目指している内容について	主任介護支援専門員	1名	11月27日	1日間	じばさんビル	口頭・復命
第2回 地域包括支援センター認知症担当連絡会	認知症カフェフォーラム、SOSネットワーク・県警による認知症支援状況について	認知症担当	1名	12月10日	1日間	姫路市役所	口頭・復命
平成30年度 姫路市生活支援体制検討会議	地区生活支援体制検討会議の開催状況、生活支援と増進型地域福祉について	主任介護支援専門員 認知症担当	2名	12月17日	1日間	姫路市役所	口頭・復命
介護支援ボランティア（あんしんサポーター）交流会	認知症の基礎知識、姫路市介護支援ボランティアの活動状況について	認知症担当	1名	12月18日	1日間	姫路市市民会館	口頭・復命
地域包括支援センター保健師等連絡会研修会	専門職が行う地域支援の在り方、地域包括ケアシステムの深化・推進について	看護師	1名	1月25日	1日間	姫路市防災センター	口頭・復命

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参 加 人 員	日 付	期 間	場 所	研 修 結 果 の 報 告 方 法
平成30年度 西保健センター・地域包括連絡会	精神保健福祉制度の基礎、当事者としての体験とピアサポーター活動について	主任介護支援専門員 認知症担当	2名	1月29日	1日間	姫路市西保健センター	口頭・復命
姫路市生活支援体制整備事業説明会 (平成30年度第1回)	姫路市生活支援体制整備事業の趣旨について	主任介護支援専門員 認知症担当	2名	2月1日	1日間	姫路市役所	口頭・復命
認知症カフェフォーラム	認知症カフェ、認知症サロンについて	認知症担当	1名	2月21日	1日間	姫路キャスパホール	口頭・復命
平成30年度 生活支援体制整備事業情報交換会	生活支援コーディネーターについて	主任介護支援専門員 認知症担当	2名	3月1日	1日間	姫路商工会議所	口頭・復命
第2回 地域包括支援センター保健師等連絡会	介護予防事業に関する状況報告、今年度の振り返りと次年度に向けて、引き継ぎたい内容について	看護師	1名	3月12日	1日間	イノウエビル	口頭・復命
第3回 地域包括支援センター認知症担当連絡会	平成30年度認知症担当活動報告について	認知症担当	1名	3月19日	1日間	田中興産ビル	口頭・復命

苦情対応

平成 30 年度は苦情なし

事故報告

発生日	事故内容	事故対策
平成 30 年 5 月 2 日	<p>「公用車の物損」</p> <p>通所介護事業所のなぎさに訪問した時に駐車スペースを探すため、後退操作を行ったところ、右後方をポールにあて、車体が傷ついた。</p>	<p>①心に余裕を持った運転に努める。</p> <p>②車幅間隔を身につけ、ミラーで後方を確認しつつ、慎重に操作する。</p> <p>③接触しそうな場合は、後退せず、前進操作を行う。</p>
平成 30 年 5 月 11 日	<p>「申請誤り」</p> <p>認知症の利用者に対し、介護予防更新申請をするにあたり、姫路市から更新の案内が届く前に申請手続きを行い、届いた申請書類は破棄を依頼したところ、意図が通じず、結果として、重複して申請され、姫路市介護保険課より注意を受けた。</p>	<p>①手続き期間が 2 ヶ月間あることを踏まえ、急がずに更新の申請書が届いてから対応する。</p> <p>②事前申請を行った場合は、利用者や家族に更新の申請書が届いた時点の連絡を依頼する。</p> <p>③認知症の症状を踏まえ、姫路市介護保険課に連絡し、重複しないように依頼する。</p>
平成 30 年 6 月 29 日	<p>「誤送信」</p> <p>担当利用者がたつの市民病院に入院したため、FAXで入院時情報提供書を送信したところ、送信後の確認を怠り、製鉄記念広畑病院から間違っていると連絡を受けた。</p>	<p>①他職員がいる場合は、送信先のFAX番号の確認を依頼する。</p> <p>②送信先のFAX番号を入力後、紙面のFAX番号を声に出して読むなど確認してから送信ボタンを押す。</p> <p>③送信済みの合図後、送信先に連絡し、受診状況の確認を依頼する。</p> <p>④受診していないとの回答があった場合は、履歴を確認し、誤送信していた場合は、相手先に連絡し、謝罪するとともに破棄を依頼し、記録する。</p> <p>⑤送信先には再送信を行い、再度、連絡し、確認を依頼する。</p>
平成 30 年 7 月 2 日	<p>「給付管理の誤り」</p> <p>利用する事業所の変更時にリハビリ単位数の変更や加算の追加を見落とし、実績確認時に区分支給限度額を超えていることに気づき、1,270 円の自己負担が発生したため、利用者に陳謝する。</p>	<p>①事業所との連絡調整を密にし、変更や加算の追加を確認する。</p> <p>②事業所から連絡を受けた時点でデータを修正し、利用者を確認を依頼する。</p> <p>③月毎の利用票の作成は一括で行わず、個別でデータ作成を行い、作成後、内容を確認してから利用者や各事業所に手渡し、確認を依頼する。</p> <p>④加筆、修正等があれば、即、対応し、再確認を依頼する。</p>